

# 核を廃絶し、平和な社会へ

# 伊那民報

## 文化行事、多彩に

発行  
日本共産党  
伊那市委員会  
伊那市狐島3879  
有線も(72)2465

### 第26回伊那市民平和のつどい

8月5、6日におこなわれた「つどい」では、5日に新藤兼人監督の最後の作品「一枚のハガキ」が上映されました。新藤監督の実験を映画化したもので、戦死した者はもちろん、生き残った者も残された家族もみんな犠牲者だということを静かに訴える作品でした。

180人余が会場の創造館に集まり、入りきれないくらいの盛況でした。参加者からは「新藤監督の最後の最高傑作というのは本当だったね」「平和映画会は毎年いい映画をやってくれて楽しみにしている」「会場に冷房が無かった。



丸山公園の平和の塔に花を捧げる参加者

ぜひ付けてもらいたい」などの感想・意見が、主催した「非核平和都市宣言をさらにすすめる市民の会」によせられました。

6日は、丸山公園で「平和朝市」と「平和のいのり」がおこなわれ、世界平和や核兵器廃絶を願いました。

### 満蒙開拓団と原発

衆議院比例代表予定候補  
藤野やすふみ

売木村につづいて、泰阜村へ。松島貞治村長と懇談。共産党の林銀一村議(副議長)に同席いただききました。松島村長は、「日本の山村を再生するのは簡単。木が売れるようになればいい」とズバリ、「そのための方策を考えてください」と、村長から「依頼」されたので、大いに研究したいと思えます！

### 東奔西走記

続いて、村内に建つ満蒙開拓団の慰霊碑へ。泰阜村から満州に移り住ん

### 第3回 平和音楽会

うたこえサークル「ざざむし」が主催する「平和音楽会」が8月5日、いなっせで開かれました。核廃絶の祈りを込めた構成組曲「平和の旅へ」を公募合唱団が歌ったのはじめ、いろいろな団体が演奏を通して、平和を訴えました。



恒例になってきた平和音楽会、団員も増えてきました

だ1、144人のうち、638人もの方々が泰阜村に帰れず亡くなりました。

慰霊碑には、「国策に従い」満州に行ったことを明記。泰阜村からたくさんの方が満州に渡つたのは、あまりに貧困だったからです。そこに満州移民という「国策」が押しつけられました。貧困と国策、この構図は、原発にも当てはまります。松島村長も、「貧困な過疎地に原発を受け入れさせた国策は、満蒙開拓団と同じだ」とおっしゃっていました。



慰霊碑の前で(中央、三沢区候補)右と

### 地 蜂

上伊那のGFP(ゴーフオーピス・平和を擁護)が企画する原水爆禁止世界大会参加ツアーで広島の平和記念式典に参列した。まずは、最も心を打たれ勇気づけられた、こども代表の「平和への誓い」から引用させていただきます。「...つらい出来事を同じように体験することはできないけれど、わたしたちは想像することによって共感することができます。悲しい過去を変えることはできないけれど、未来をつくるための夢と希望を持つことができます。平和はわたしたちでつくることができます。身近なところに行けることがあります。違いを認め合い、相手の立場になって考えることも平和です。思いを伝え合い、力を合わせ支え合うことも平和です。わたしたちは平和をつくり続けます」。広島市の小学六年生三保草(く)ん・遠藤直優さんの言葉。世界大会でも式典でも、さまざまな発言や訴えを聞いた。その前に原爆資料館も見学した。それらから与えられたすべてが、この子どもたちの言葉に凝縮されているように思う。八月六日を中心に伊那市でも平和にかかわる数々の催しが行われた。暑い中だったが、それぞれ多くの人が集まり感動を呼んだ。戦後六十七年。いまや平和を求め行動はごく当たり前のことになっているが、無関心な人がまだまだ少なくないのも現実。どの催しでもいい、次回はぜひ初参加の友人を誘おう！世界は核兵器禁止条約の交渉開始に向けて動きだしている。

# 市民の税金取り戻す正義のたたかい

## NEC住民訴訟裁判

第5回目を迎えるNEC住民訴訟裁判は、9月10日長野地方裁判所で行われます。



7/12第4回裁判へ。長野地裁前

今回の裁判で原告側は、平成17年のNECライティング社からの工場を造りた

異なっている点が多くあり、矛盾点を中心に釈明を求めるとともに追及するとしています。

原告団は、市民の巨額の税金を取り戻すために、住民訴訟への理解と傍聴への参加など物心両面のご支援をお願いしています。



傍聴参加のバスは、9月10日午後1時伊那市役所駐車場(西側)を出発します。

## 原水禁世界大会に参加!

GFP上伊那の企画による、原水爆禁止世界大会広島への参加ツアーが8月3日夜出発、6日深夜帰着という日程で行われ、20代、60代の男女12人が参加しました。みなさんに募金をお願いし、マイクロバスでスタッフが交代で運転、経費の節減を図りながら運動の担い手を育てて今年で4年目。



記念講演  
小池晃政策委員長来る!

さよなら原発上伊那の会

# 3回目のデモ行進 in 箕輪

9月9日(日) 10時~12時

上伊那生協病院集合

79-8702 (上伊那医療生協)



募金に協力いただいた方には報告集をお渡しする予定です。

来年は長崎で8月7、8、9日の3日間です。今から予定を空けてぜひ一緒に参加しましょう!



原爆ドームをバックにして

## 共産党の支部活動

### 東春近支部

支部は、党創立90周年記念の拡大運動月間の7月に3人の新しい仲間を迎えました。これまで身近にいて

党をずっと支持してくれていた人たちです。一人は、党の看板貼りもいつも一緒に手伝ってくれていました。月間をきっかけに声をかけることができました。また、転籍のご夫婦の仲間も増え、一層賑やかになりました。

月2回の支部会議への参加者は限られていて多くないのですが、毎月必ず2回の行動日を設けて赤旗新聞を増やしてきました。



今夏2回目の入党歓迎会

飯島議員の力に依るところも大きいですが、とにかく1部だけでもという感じでコツコツと増やしてきました。

成果のないこともありますが、何回か通っているうちに読者になってくれることもあります。

今度の総選挙で、悪政ゴリ押しをの民自公に鉄槌を下し、庶民のための政治の実現のために共産党を躍進させたいと、候補者のチラシも持って地域を歩いています。

# 市議後援会でマレットゴルフ大会

前沢けい子後援会のマレットゴルフ大会が7月28日に行われました。27人が参加。心地よい汗を流した後、焼肉で親睦を深めました。

## 前沢後援会、三沢さんも参加

当日、飯伊地区で行動していた三沢候補も合流、共産党を勝たせるためにはどうしたらよいか？などの質問に「そういうことならぜひ共産党に入って！」と明快に答えていました。

## 飯島後援会、40名が交流

飯島光豊後援会のマレットゴルフ大会は7月29日に開かれ、猛暑にもかかわらず40名がプレーを楽しみました。ゲーム終了後、会場をJA春富支所に移して表彰式と慰労会が開かれ、暑気払いをかねて焼肉と生ビールで潤いた喉を潤し、交流を深めながら夏のひと時を過ごしました。



慰労会でありはつする飯島市議



## 窓 市議の 棚沢川改修促進 期成同盟会

柳川ひろみ

先日、手良から野底へ流れる棚沢川の改修促進期成同盟会があり、現地調査をしたら、野底公民館北側で護岸が崩れていました。

私は、大雨の後は危険箇所を見て回ります。今年も6月台風の後などに回っていますが、棚沢川は

最近河床が上がって来ていると思いい市や野底区へ報告していました。期成同盟会では野口区の役員さんから「上流の国有林で崩落箇所があり、雨で砂が流出して困っている」と報告がありました。国へ砂防事業の要望は出している。

ただ、下流の区民には情報は知らされていませんでした。災害情報の共有が大事です。



## 昭和初期の上伊那

# 2・4事件の頃

## 転向強要の弾圧つづく

拷問などの凶暴で卑劣な取り調べにより「思想そのものを百八十度転換させてしまおう」という特高警察主体の方針の転換が行われました。小林多喜二が虐殺された昭和八年、四・一六事件で検挙され、改悪された治安維持法によって無期懲役の求刑におびえた佐野学、鍋山貞親らかつて共産党の指導部にいたものが、弾圧に屈服して「転向声明書」なるものを発表し、意識的に党を裏切っていくきました。

続いて三田村四郎、高橋貞樹、田中清玄らも転向していきます。司法当局はこの声明書を全国の刑務所に配布して、わずか一か月の間に当時、刑務所や留置場に拘留されていた活動家の55%にのぼる963名を転向させたといえます。



佐野・鍋山の転向を伝える新聞

2・4事件が発生した一九三三年（昭和八年）前後の上伊那における共産党と革新勢力の活動状況はどうなっていたのでしょうか。

## たった一人の共産党員

### 共産党の組織つくり

特高警察の資料によると、長野県における共産党の組織つくりの取り組みは、毎年のように行っていた検挙で壊滅を期してきたが「執拗なる再建活動はますます潜行かつ積極化し、検挙漏れの残留分子、非検挙釈放者は全農、コップ等の運動により半合法の陰に隠れて、再建の機会をうかがうてきて、広範な地盤を養い、全県下に各種組織が次々に生まれる気運を作り出している」として上田・小県や下伊那な

どを先頭に共産党の組織再建が進められていた様子が記されています。上伊那では富田村の馬場長治が、当時、東京にいて帰郷した西貢輪の小坂光春の勧めを受けて昭和八年一月に入党しました。この時期、上伊那では馬場長治だけが唯一の党員でした。党中央のオルグと連絡をとり、「上伊那地区準備会」を名乗って全農の組合員をたどって党の組織つくりに着手した矢先の一月に2・4事件の弾圧を受けて逮捕されてしまいました。（文中敬称略）

## 伊那谷の歴史散歩

激しい拷問や長い拘禁生活に耐えかね、家族等とのしがらみや生活の苦難のため心ならずも闘いから脱身できるを得なかつた例も少なからずありました。

境区 有賀光良

随想

伊那谷に移り住んで

東春近 横田 美男

思わぬ大病をし、昨年4月に、  
転地療養を兼ねた終の住みかとし  
て東春近の地へ東京から転居して  
きました。

冬の寒さや夏場の雷雨に驚きつ  
つも、雪解けと共に川の水嵩が増  
し、草花が一斉に花開く4月、田  
植え時の田園風景や落葉松林の芽  
吹きと新緑が美しい5月、そして、

南アルプスや中央アルプスの山々の美しさ等々、都会生活  
が少し長かった私には忘れかけていた、あるいは見たこと  
も無かった季節の変化と美しさに感動の日々である。

そればかりか、名水と言われる水のおいしさや真夏でも  
ひんやりとした空気のさわやかさ、小鳥のさえずりで目を  
覚ます日々は、「騒音とコンクリートの建物」の中での都  
会生活とは比べ様もない心地よさである。

また、学校の行き帰りに「おはよう」「こんにちは」と  
元気に声をかけてくれる子供たちの素朴さ、文化的な催し  
や講演会、地域の行事に何かと親切に声をかけていただ  
く人々からは、気持ちのやさしさと思いやりを感じている。

伊那谷に住む人々が守ってきた自然環境の美しさや文化、  
人間的なあなたたかさには大変感謝している。

私も、伊那谷の持つこれらのすばらしさを守る為に、好  
きな畑仕事を少しずつ広めながら、地域の一員として何か  
できることを早く見つけたかと思っている。



雪化粧した中央アルプス

絵手紙

手良 高橋きんよ



催し案内

「異常な土地取得」現場見学会  
8月30日(木)午前9時

市役所西側駐車場集合  
・案内人：飯島光豊市議  
・主催：のぞみの会(74-5826 井口)

第11回はびろの里まつり  
9月2日(日)10時~14時

・老人保健施設「はびろの里」  
・お問合せ：事務局(77-0105)

NEC住民訴訟第5回裁判  
9月10日(月)午後3時長野地裁にて

午後1時市役所駐車場(西側)発  
・連絡先：市川(73-2928)

第35回赤旗信州秋まつり  
9月17日(月・祝日)9時~16時

・松本市・やまびこドーム  
・各地からバスが出ます。  
・連絡先：民主会館(72-2465)

または、お近くの共産党市議へ  
飯島 光豊 (72-8487)  
前沢けい子 (76-2391)  
柳川ひろみ (76-5770)

第55回長野県母親大会  
9月30日(日)9:15~16:15

・駒ヶ根市文化会館  
・午前 意見発表・見学分科会  
・午後 記念講演「希望をもって生きるために」

講師 野田正彰さん

精神医学者・評論家・ノンフィクション作家

連絡先：長野県母親大会実行委員会  
(0263 24 2031)